

パラリンピック聖火リレーに係る区の実施概要について

1 パラリンピック聖火リレーの実施概要

(1) 目的

オリンピックの熱気と興奮をパラリンピックにつなぐとともに、大会コンセプト「Share Your Light / あなたは、きっと、誰かの光だ。」に基づき、大会を契機に共生社会を実現し、人と人、人と社会との「新しいパートナーシップ」を考えるきっかけとなることを目指す。

(2) 実施期間

オリンピック終了後、8月12日（木）からパラリンピック開会式のある8月24日（火）まで

(3) パラリンピック聖火の作成方法

パラリンピック発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビル47都道府県で採火される炎から生み出される。全国880超の区市町村で工夫を凝らした独自の手法で採火が行われ、8月20日（金）に東京都で開催される集火式でパラリンピックの聖火として統合される。

(4) 聖火リレー走行自治体

競技を行う静岡県（8/17）、千葉県（8/18）、埼玉県（8/19）、東京都（8/20～8/24）の4都県のみで実施される。

大田区内の走行はない。

2 区の実施概要

区においても、区の特徴を活かした方法で採火を行うとともに、採火した火を「大田区の火」とするセレモニーである採火式や、灯した火を区民にお披露目する聖火ビジットを実施することで、パラリンピックの気運を盛り上げていく。

(1) 採火方法

区では、ものづくりのまちをアピールするため、大田工業連合会に依頼し、採火器具（凹面鏡）を制作する。その採火器具を使用し、8月上・中旬に平和の森公園にある平和の愛し子の像（平和都市宣言像）の前で採火し、区の種火とする。その模様を動画で撮影し、8月15日（日）の平和の祭典（アプリコ）で紹介する。

(2) 採火式及び聖火ビジット

8月20日（金）の午前中に、区役所本庁舎前で種火を用いた採火式を実施し、「大田区の火」として展示する。同日の昼頃に、東京都が実施する集火式に「大田区の火」を持ち込み、都内各自治体から集められた火が「東京都の火」となる。分火した「東京都の火」を持ち帰り、午後に区役所本庁舎に展示する。